

2007年 自然科学研究機構生理学研究所

第18回生理学実験技術トレーニングコース

# “生体機能の解明に向けて”

◆分子・細胞からシステムレベルまで◆

2007年7月23日(月)午後～27日(金)

場所●自然科学研究機構生理学研究所(明大寺地区、山手地区)

7月23日(月)午後

■講演(岡崎コンファレンスセンター大会議室)

久保 義弘(神経機能素子研究部門・教授)

「イオンチャネル・受容体の機能制御機構と動的構造変化」

■各部門の研究紹介

7月24日(火)～27日(金)

■実習内容

1. 生物試料の位相差低温電子顕微鏡観察
2. 免疫電子顕微鏡法
3. in situ hybridization法を用いた二重染色法
4. 遺伝子改変動物作製(マウス)
5. in vitro 発現系を用いたイオンチャネル・受容体の機能解析
6. 2光子顕微鏡によるバイオイメージングの基礎と応用
7. パッチクランプ法
8. スライスパッチクランプ法(基礎コース、応用コース)
9. 大脳皮質ニューロンの解析
10. 生理学実験のための電気回路・機械工作・プログラミング
11. 摂食・飲水行動発現機構入門
12. 麻酔下動物での急性電気生理実験
13. 慢性動物実験法入門
14. 視知覚の脳内メカニズムの実験的解析
15. 脳磁図によるヒト脳機能研究の基礎
16. ヒト脳機能マッピングにおけるデータ解析入門

■対象者:大学院学生(修士、博士)、学部学生、若手研究者(企業研究者を含む)

■募集人員:約150名

■主催:自然科学研究機構生理学研究所

■共催:日本生理学会、日本神経科学学会、  
文部科学省特定領域研究「統合脳」総括班

オンライン申し込み

5月1日(火)～6月11日(月)

連絡先:伊佐 正(認知行動発達機構研究部門)

TEL: 0564-55-7761 e-mail: training@nips.ac.jp

http://www.nips.ac.jp/training/

